

●スペースパークボランティアの会●

S.P.V つうしん

第60号 2019/Mar.

発行：スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL.024 (936)0201 FAX.024 (936)0089

ボランティアまつり

平成31年 3/2⑤~3⑥



平成最後のボランティアまつりは天気にも恵まれ、盛況に行うことができました。

案内グループは「紙芝居」「ぬりえ」「昔遊び」を体験し、特に親子で競いあえる皿回しが人気を得ていました。科学グループは「静電気クラゲ」「風船ロケットづくり」「折り紙体験」等を行い、ちょっと難しい折り紙に挑戦したり、ロケット飛ばしを楽しんでいました。天文グループは「星座早見盤づくり」「超高性能筒覗き」を行いました。早見盤づくりは子供たちよりも保護者が小学校のときに作った体験を思い出しながら行なっているのが印象的でした。また、今年も似顔絵コーナーを設けることができ人気を博していました。23階のキッズアワーが「ウルトラマンゼロ」だった事もあり、昨年より参加者が多いように感じました。多くのご来場ありがとうございました。 天文グループ 鹿岡 国俊



活動表彰・ボランティア総会・講演会

第16回
平成31年 3/10⑥

まるで春日和を思わせる3月10日(日)ボランティア活動感謝状贈呈式とスペースパークボランティアの会平成30年度第16回総会が開催されました。

総会は、科学グループの山田さんが議長に選出され、案内・科学・天文各グループからの活動報告と活動計画(案)の発表と、総務・企画・広報の各専門部会からの報告がありました。次年度役員選出も行われ、滞りなく総会が終了しました。

総会の後は、郡山市国際政策課岩浪正人さんを迎え、日本遺産「未来を拓いた一本の水路」の物語という講演会が開催されました。日本遺産と世界遺産の違いの説明に始まり、安積疏水・安積開拓に関する内容でした。興味深く分かりやすい解説でした。安積疏水がより身近に感じられ、理解も深められたと思いま

案内グループ 菅野 佳子



スペースパークボランティア募集!

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 企画運営課
TEL024-936-0201

出張活動報告

ビッグパレット
出張活動にて

10月14日(日)ビッグパレットの出張活動に参加して来ました。当日、全国青少年発明工夫展示会の催し会場となっている中、メインステージ脇に設けられた「紙芝居コーナー」に、胸はドキドキ少し緊張しながらもワクワクした自分が居ました。拍子木を打ち鳴らし雰囲気作りをすると観客が集まってきました。

私は、地元で伝わる三大美女物語「采女伝説、静御前、萩姫」の紙芝居を演じました。昔話に歴史も折り混ぜての少し難しい内容ではありましたが、登場する「三人のお姫様」そしてそれぞれの悲しい結末では、哀れみの表情を感じ、観客に伝えることが出来ました。「知らなかった—こういう話しあったんですね」とか「紙芝居懐かしかったです」と声をかけられて嬉しかったと同時に紙芝居を演じて良かったと思いました。これからも紙芝居に親しみ楽しんでいきたいと思いました。

案内グループ 原 弘子



ハロー!大槻公民館

3種類の工作を積み込んで地上100mのふれあい科学館を出発。同じ材料で作りに上げていくのに科学工作の面白さは結果が全てだと思います。どのように仕上がればより良い工作になるか?

例えば風船ロケットをより遠くまっすぐ飛ばすにはどこをどのように工夫すればよかったのか。

出来上がりを見て反省し、作り直したり、より完成に近づけていくことこそ科学工作の面白みや感動だと思っています。

“皆さーん、また、ワクワクしましょうネ”

科学グループ 丹野恵美子

熱海地区三世代交流会

新年第一号の出張活動『熱海三世代交流会』は、今回から会場が「ほっとあたま」に移り、雰囲気もガラリと変わっての開催となりました。ボランティア7名で3種の工作を出展し、子ども達は好みのメニューを楽しんでいました。

用意したのは、小さなお子さんでも工作の楽しみが味わえる「紙とんぼ」に、上級生や女子に特に人気だった「偏光万華鏡」、それから私達が先日勉強会で学んだ、空中で分かれる二段式の「紙ひこうき」です。各ブース、スタッフや親御さんと丁寧に作り上げ、歓声を上げて遊ぶ元気な子ども達の姿が見られました。お声掛け頂いた団子さしや昼食会も和気あいあいと盛り上がり、メンバーの機転とチームワークに助けられ、人の温かさが身に沁みだ一日となりました。

科学グループ 山田善貴

部分日食
観望会

今年最初の天文イベントが1月6日にありました。部分日食です。日が食われると書いて日食ですが、どうして起こるのでしょうか?太陽と月と地球が一直線に並んで、太陽と地球の間に月が入り込んだときに太陽の光が月に遮られて欠けて見えるのが日食です。日食観察の注意点は絶対に太陽を直接見ないこと、ガラスに反射したのを見ても目に有害ですからやめましょう。

当日は、8時40分頃から欠け始まるので私達はその1時間前から太陽を投影板で見る望遠鏡の設置と日食専用サングラスを用意して観望会の準備をしました。雪がちらつき薄曇りの中でしたが、見に来たお客様と一緒に約3時間におよぶ天体ショーを観察できました。今年は12月にもう一度、部分日食があります。1年に2度見られる珍しい年です。楽しみにして下さい。天文グループ 捧 芳光

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第61号7月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をWEBでお知らせしています

WEBアドレス <http://www.space-park.jp/volunteer/>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL.024(936)0201まで

編集あとがき

☆案内グループ 春の足音に心は、弾み嬉しいのですが…恐怖の花粉もやって来る!さて今年、どんな対策で乗りきろうか…敵は、強し。(原)

☆科学グループ 寒暖の激しい冬でしたが、科ボラの皆様は元気ですね。春になったら花見だね。(加)

☆天文グループ 「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に着陸しました。あとは無事に帰ってくることをみなさんと一緒に祈りましょう。「はやぶさ2 カムバック」(鹿)



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙ヘリサイクル可。